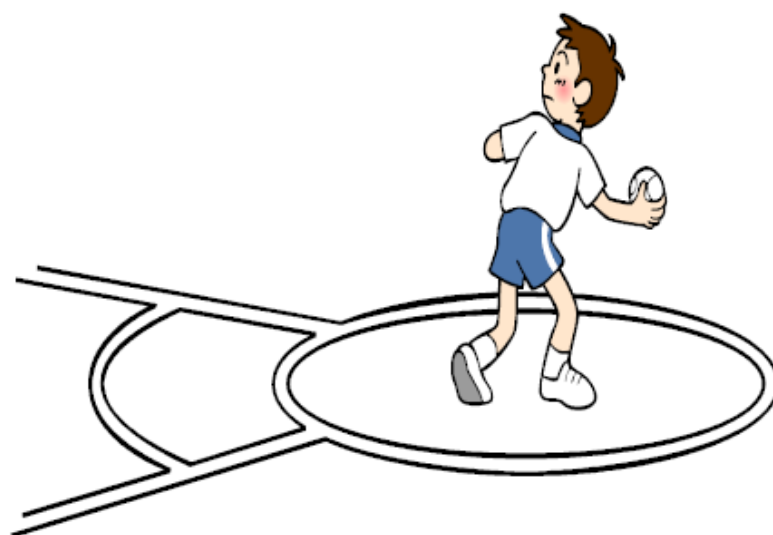


令和3（2021）年度  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査

# 分析結果



下野市教育委員会

令和4年3月

# 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果【下野市の概要】

令和4年3月1日  
下野市教育委員会

## 1 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

- ◇参加校 下野市立小学校（第5学年）中学校（第2学年）（全校参加）
- ◇実施時期 令和3年4月～7月
- ◇体力テスト種目
  - ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20 mシャトルラン ⑥50 m走
  - ⑦立ち幅とび ⑧ボール投げ(小学校－ソフトボール、中学校－ハンドボール)
- ◇体格調査項目
  - ①身長 ②体重
- ◇運動習慣等調査質問内容
  - ①運動の好き嫌い ②運動の得意不得意 ③運動部所属状況
  - ④学校の体育以外での運動やスポーツについて
  - ⑤体育の授業について ⑥体力向上に関する情意面等

## 2 体力・運動能力結果について

### (1) 全国平均との比較から見る令和3年度の調査結果（全体比較）

下野市と全国平均との比較【 $\chi$ をT得点での差（点）とする。】

◎上回っている ( $\chi \geq 3$  点)      ○やや上回っている ( $0.3 \text{ 点} \leq \chi < 3$  点)  
 -同じ ( $-0.3 \text{ 点} < \chi < +0.3 \text{ 点}$ )      ▽やや下回っている ( $-3 \text{ 点} < \chi \leq -0.3$ )      ▼下回っている ( $\chi \leq -3$  点)

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
小5男子	H26	▼	▽	▽	○	○	▽	—	▽	▽
	H27	▽	▽	▼	○	▽	▽	▽	▽	▽
	H28	▽	▽	▼	○	○	▽	—	—	▽
	H29	▽	—	▼	○	○	▽	▽	—	▽
	H30	▽	▽	▼	○	○	○	○	—	▽
	R01	▽	—	▽	○	▽	▼	—	▽	▽
	R03	▽	▽	▼	○	—	▽	○	—	▽
中2男子	H26	▽	▽	○	◎	○	○	○	○	○
	H27	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	H28	○	—	○	○	○	○	○	—	○
	H29	○	▽	◎	○	—	○	○	—	○
	H30	—	—	—	○	○	○	○	—	○
	R01	▽	▽	▽	○	—	▽	▽	▽	▽
	R03	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
小5女子	H26	▼	▽	—	○	▽	▽	▽	▽	▽
	H27	▽	▽	▽	○	○	▽	—	▽	▽
	H28	▽	○	▽	○	○	—	○	—	○
	H29	▽	—	▽	○	○	—	○	▽	○
	H30	▽	—	▽	○	○	○	○	▽	○
	R01	▽	○	—	○	○	▽	○	▽	○
	R03	—	▽	▼	○	○	—	○	○	▽
中2女子	H26	▽	▽	○	◎	○	○	○	○	○
	H27	○	▽	○	○	▽	○	○	▽	○
	H28	○	—	○	○	○	◎	○	○	○
	H29	▽	▼	○	—	—	○	▽	▽	▽
	H30	○	▽	○	—	○	○	○	○	○
	R01	▽	▽	▽	○	—	▽	▽	▽	▽
	R03	○	○	◎	◎	○	▽	○	○	◎

\* T得点での差（点）で比較している。

\* T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。全国平均値を50点とする。

\* R02調査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により実施せず。

ア 男子の調査結果について

- ・体力合計点は、小学5年生は全国平均を下回ったが、中学2年生は全国平均を大きく上回った。
- ・小学5年生では、「反復横とび」「立ち幅とび」が全国平均を上回る結果となった。「ボール投げ」には改善傾向が見られた。「握力」「長座体前屈」「50m走」はこれまでに引き続き課題となっている。
- ・中学2年生は、多くの種目で前回（R01）より改善し、全ての種目で全国平均を上回る結果となった。

イ 女子の調査結果について

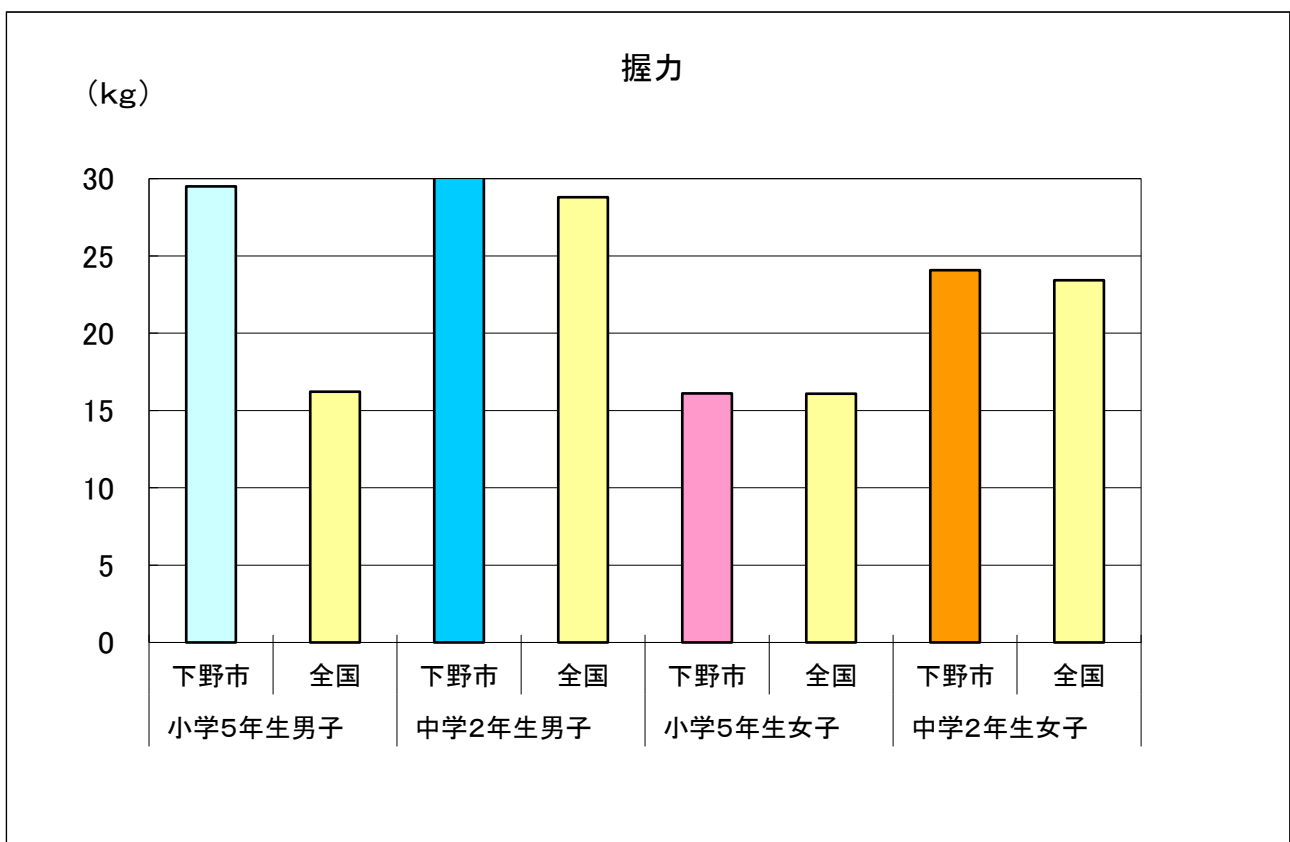
- ・男子と同様に、体力合計点は、小学5年生は全国平均を下回ったが、中学2年生は全国平均を大きく上回った。
- ・小学5年生は「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ボール投げ」で全国平均を上回ったが、「上体起こし」「長座体前屈」は全国平均を下回り、課題となっている。
- ・中学2年生は、「50m走」を除き全国平均を上回った。「長座体前屈」「反復横とび」「体力合計点」は全国平均を大きく上回っている。

ウ 男女共通して見られる特徴について

- ・「反復横とび」「立ち幅とび」は、全国平均と比較してよい結果が見られた。
- ・小学校で課題だった種目が、中学校で改善される傾向が見られる。

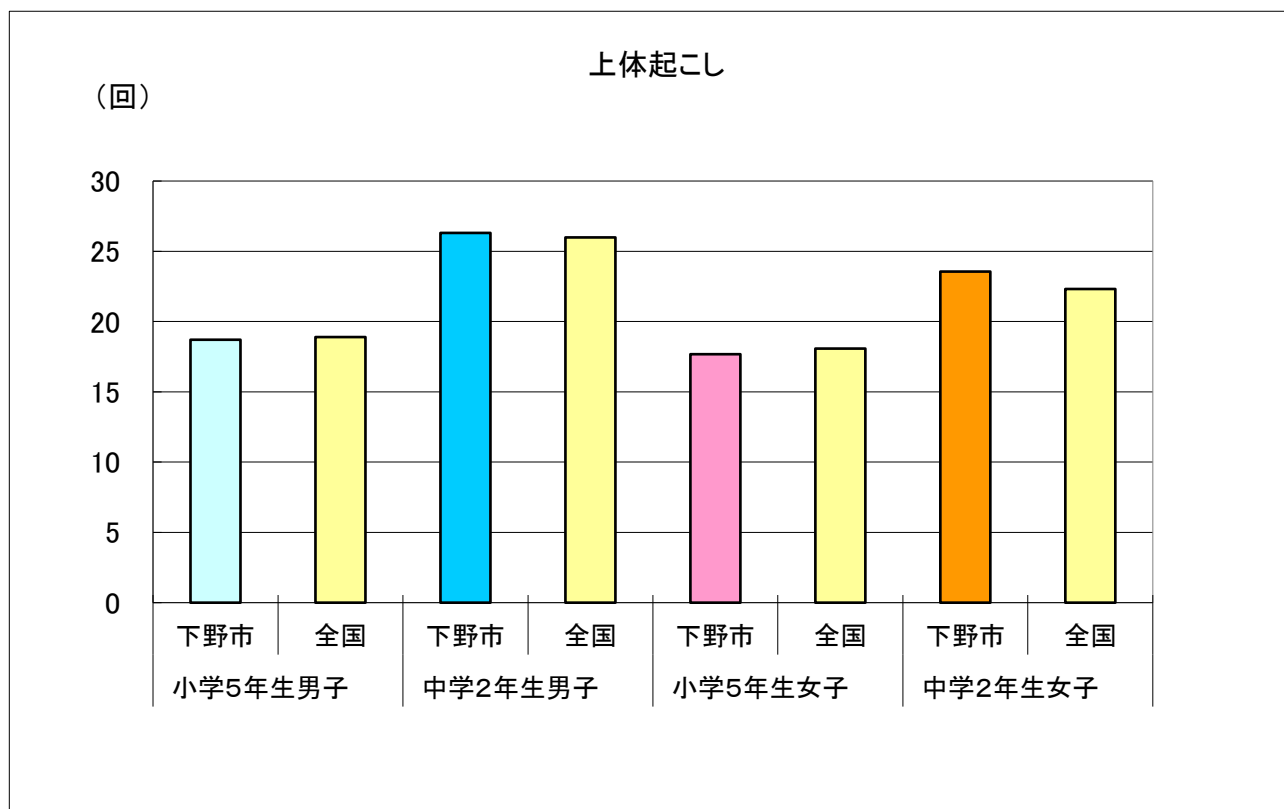
(2) 全国平均との比較から見える令和3年度の調査結果（各種目）

ア 握力 (kg)



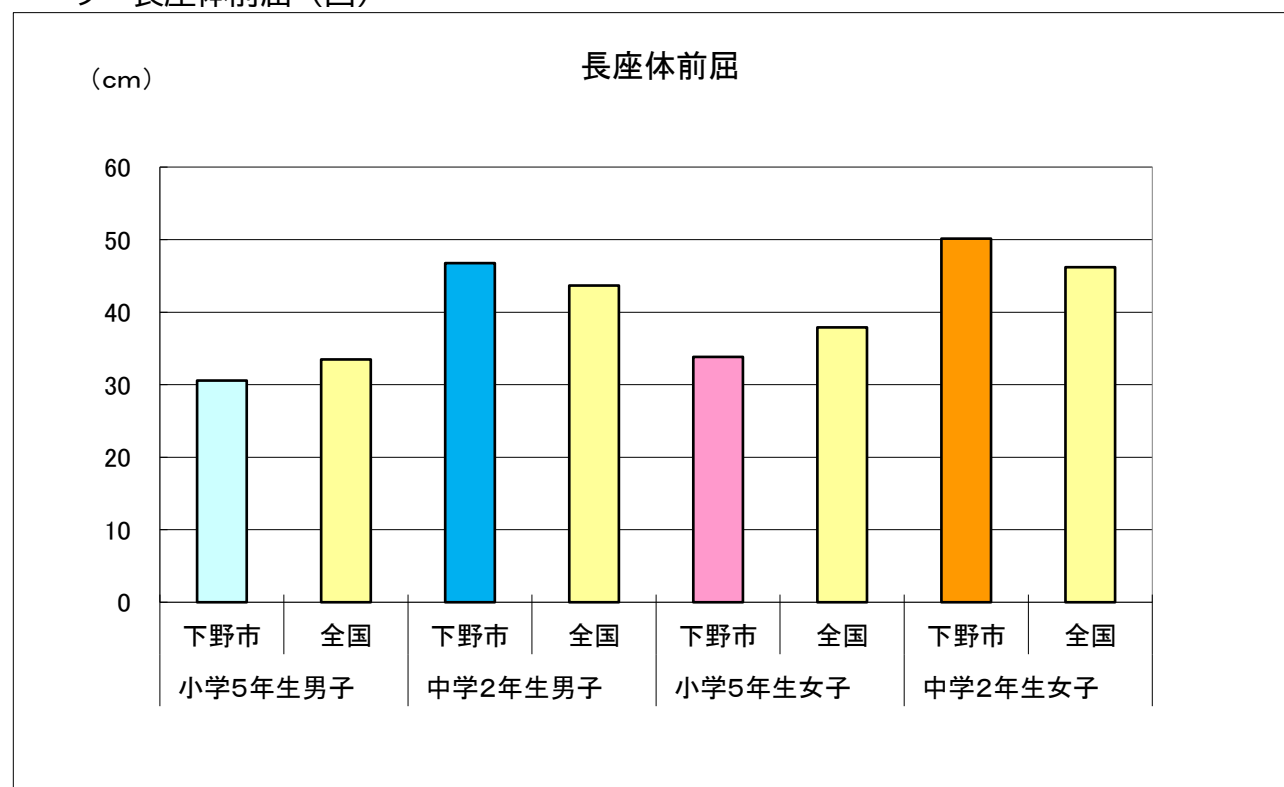
- ・小学5年生では、男子は全国平均を下回り、女子はほぼ同じだった。
- ・中学2年生でも、男女ともに全国平均を上回った。

## イ 上体起こし（回）



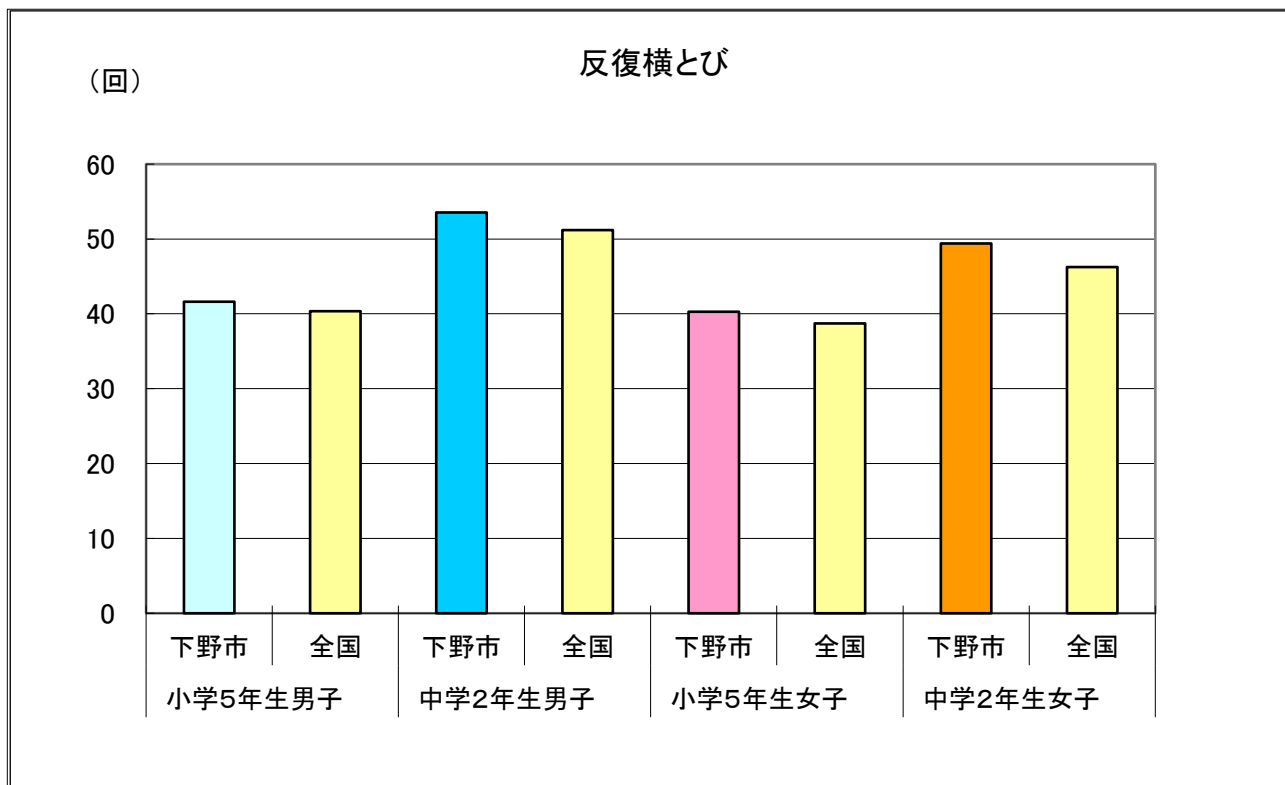
- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を下回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

## ウ 長座体前屈（回）



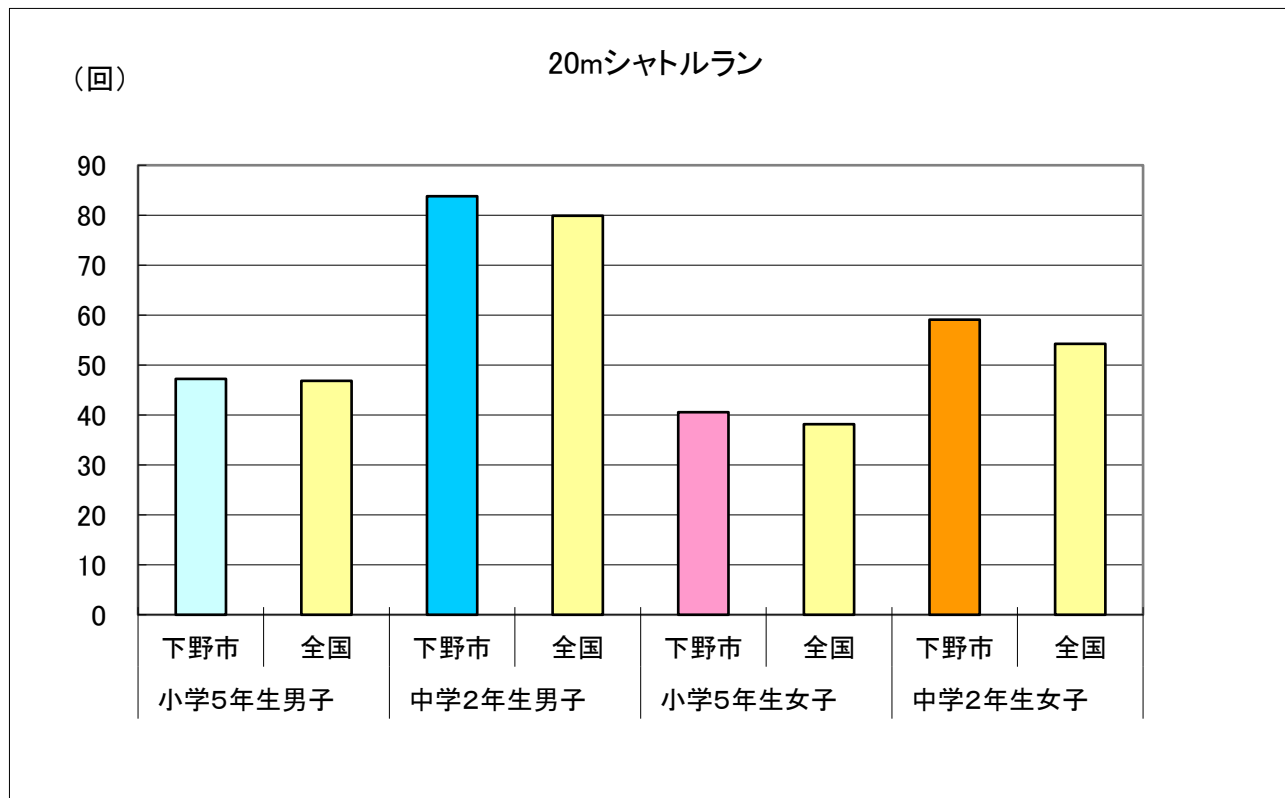
- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を下回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

## エ 反復横とび (回)



- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を上回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

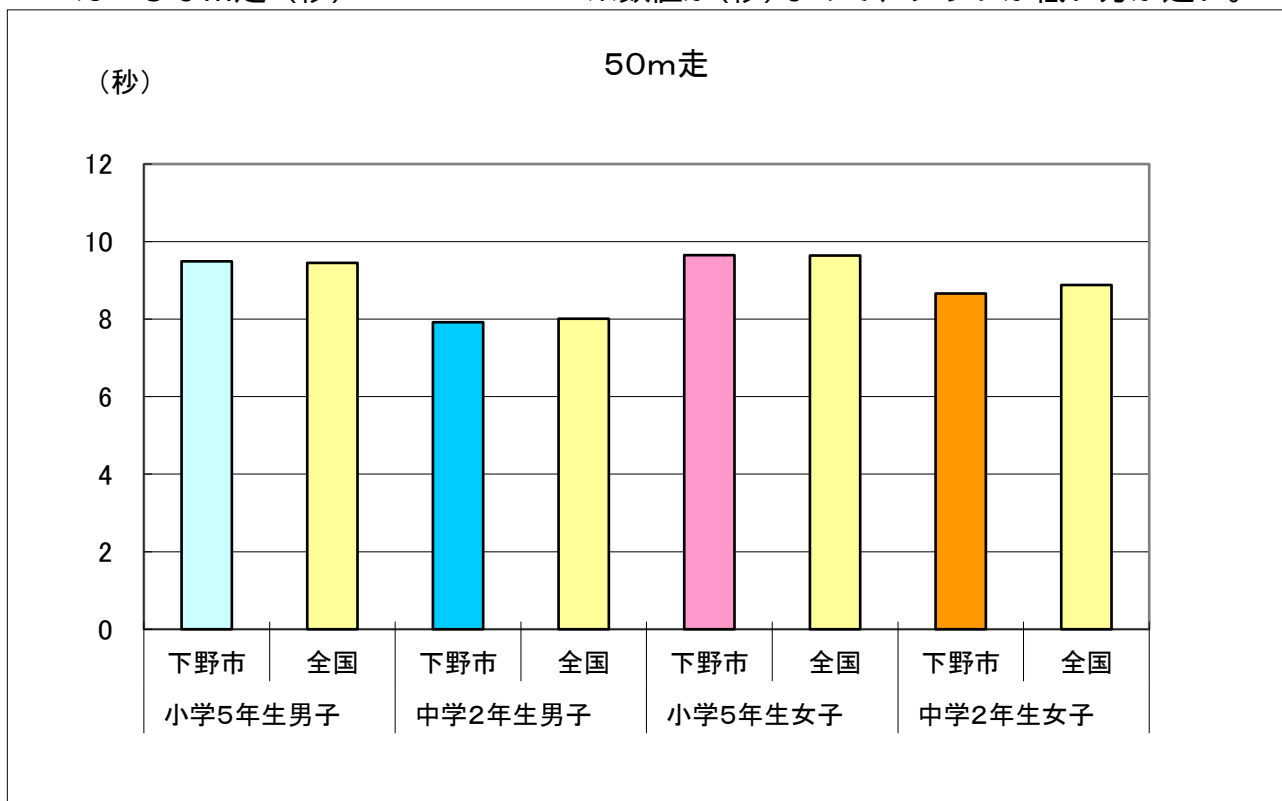
## オ 20mシャトルラン (回)



- ・小学5年生では、男子は全国平均とほぼ同じ、女子は上回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

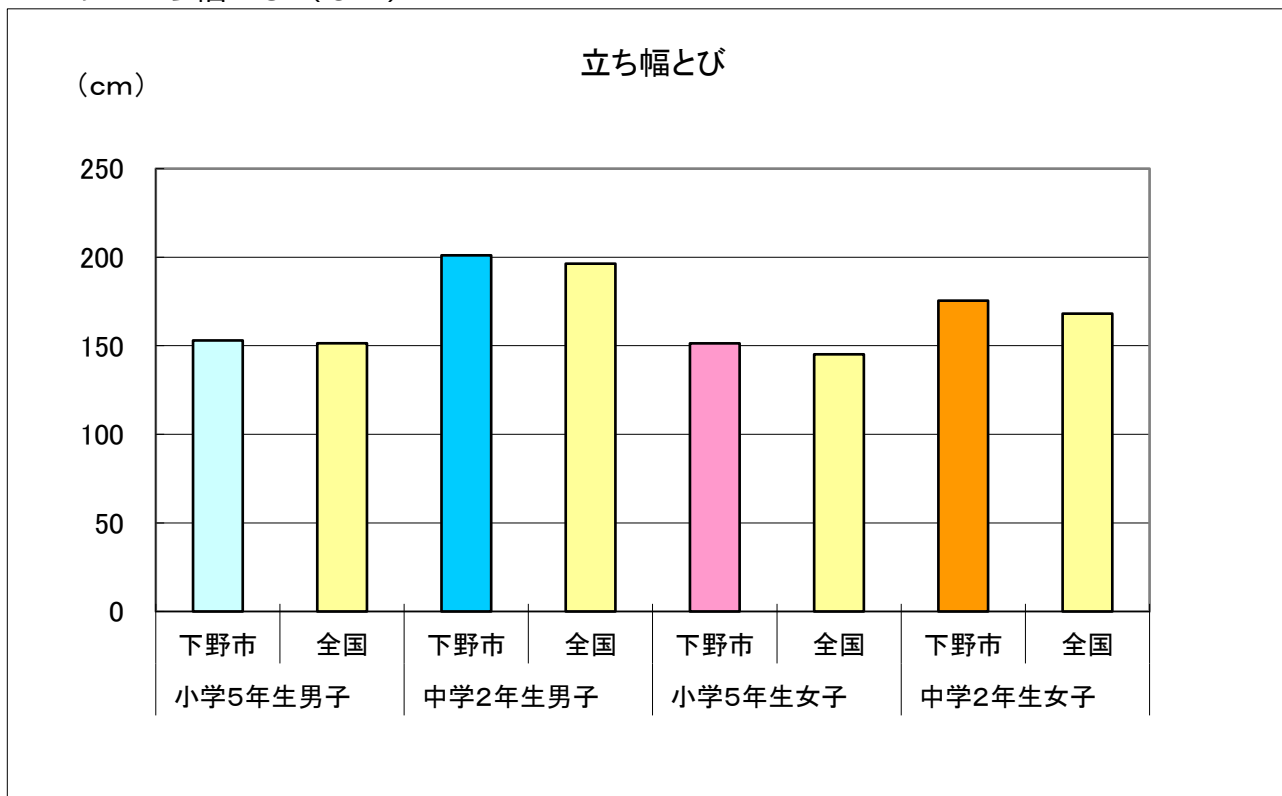
カ 50m走 (秒)

※数値が(秒)なので、グラフが低い方が速い。



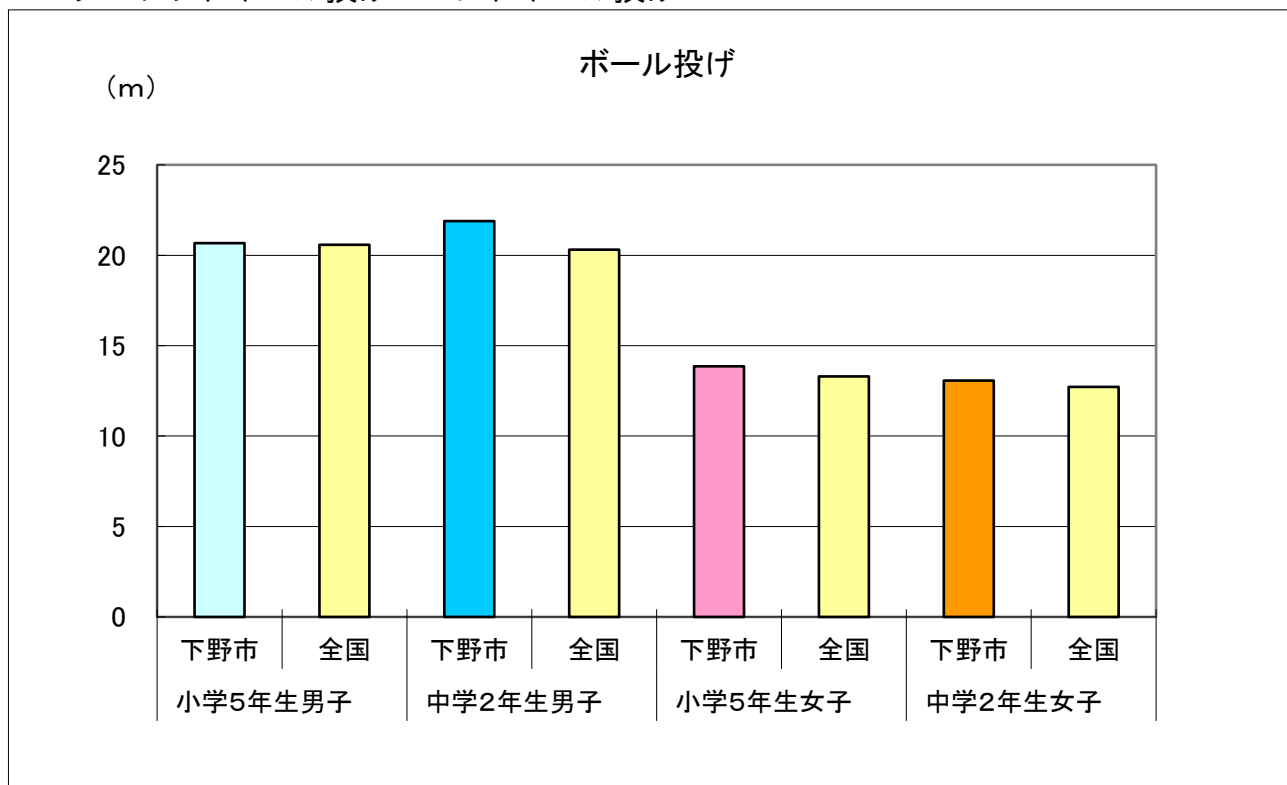
- ・小学5年生では、男子は全国平均を下回り、女子はほぼ同じだった。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

キ 立ち幅とび (cm)



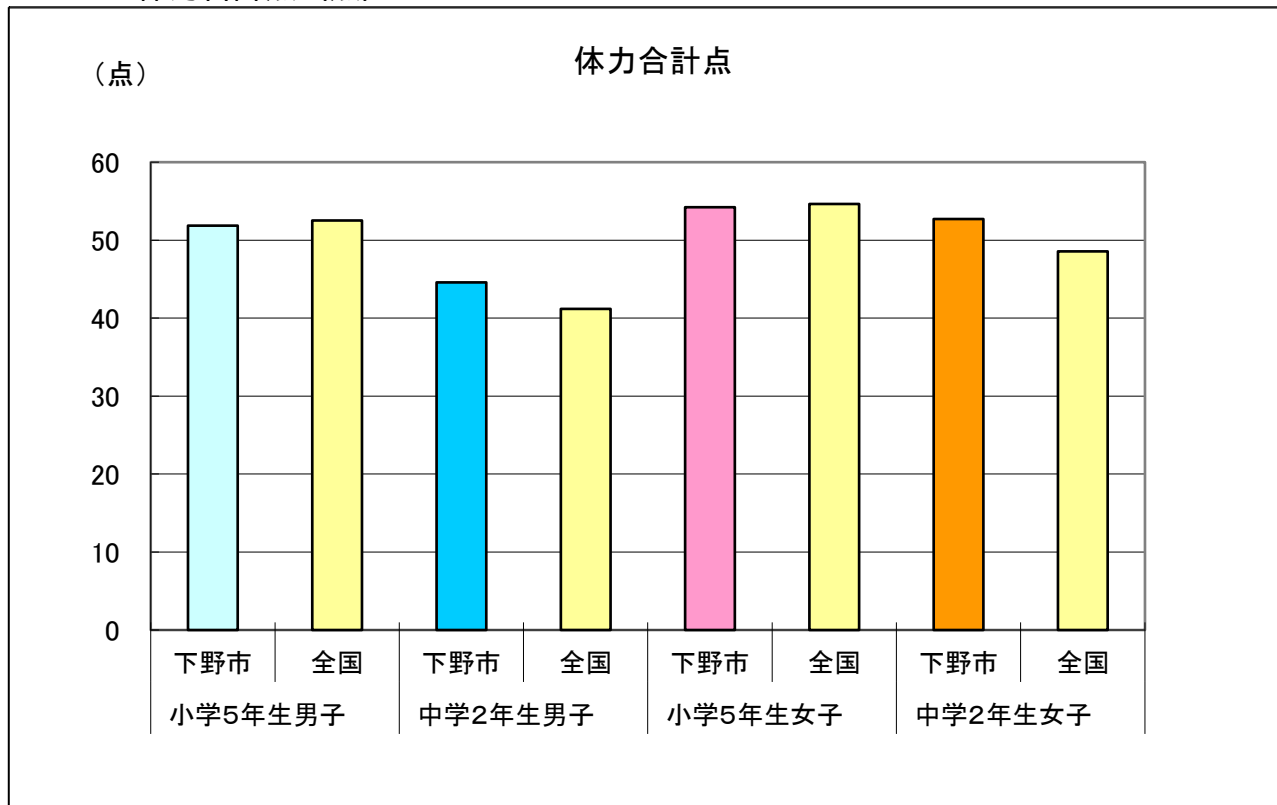
- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を上回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

ク ソフトボール投げ・ハンドボール投げ



- ・小学5年生では、男子は全国平均を下回り、女子は上回った。
- ・中学2年生では、男子は全国平均を下回り、女子は上回った。

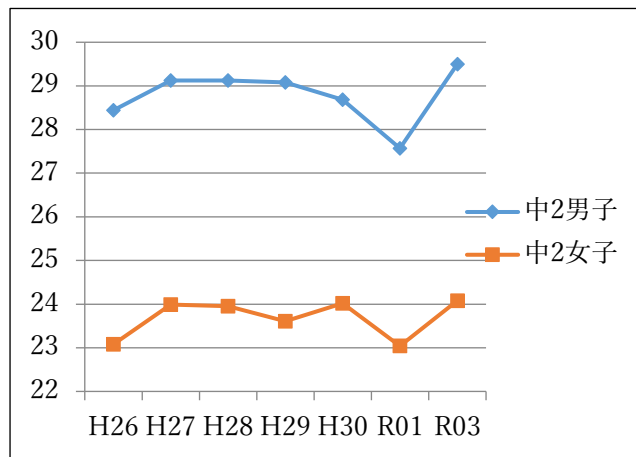
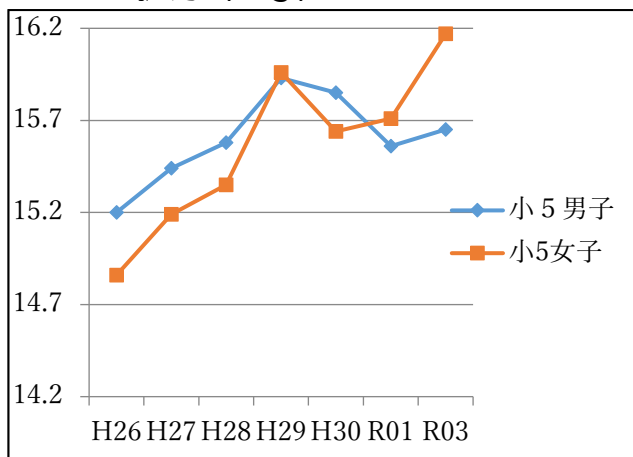
ケ 体力合計点 (点)



- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を下回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

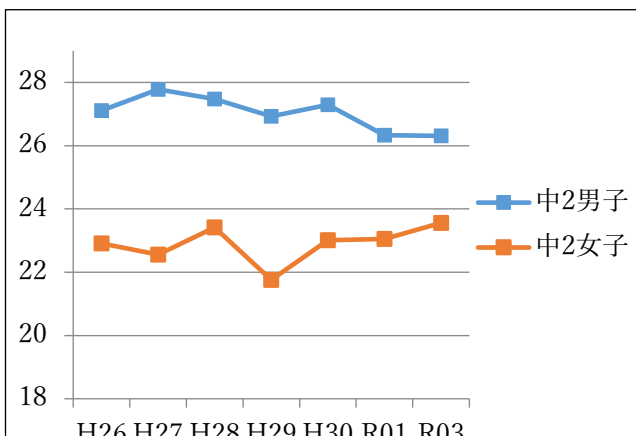
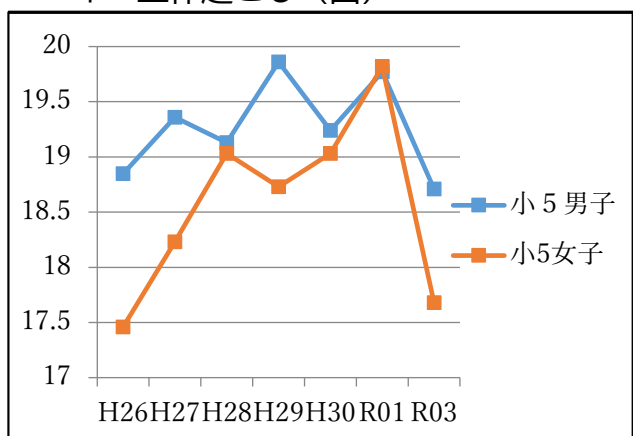
### (3) 記録の推移から見える各種目の傾向

#### ア 握力 (kg)



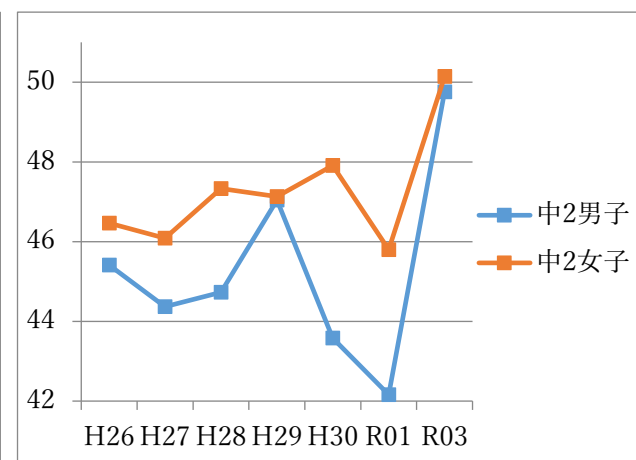
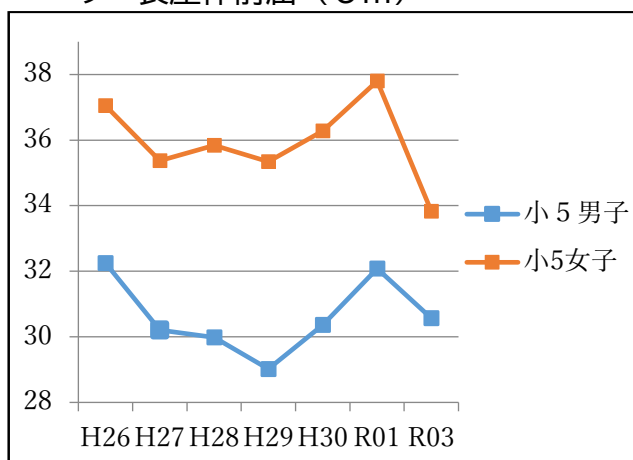
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

#### イ 上体起こし (回)



- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男子は昨年度とほぼ同じ、女子の記録は低下した。

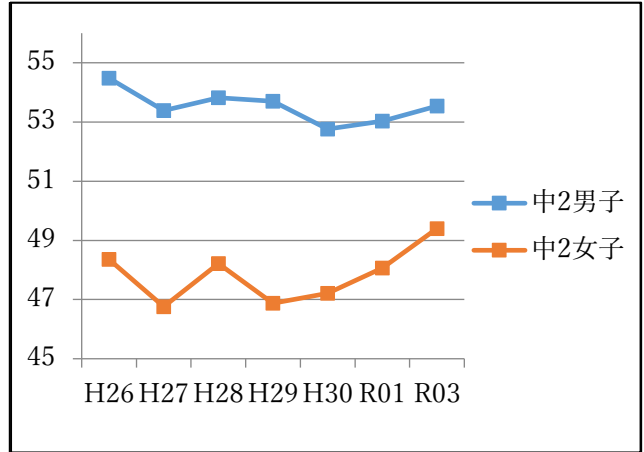
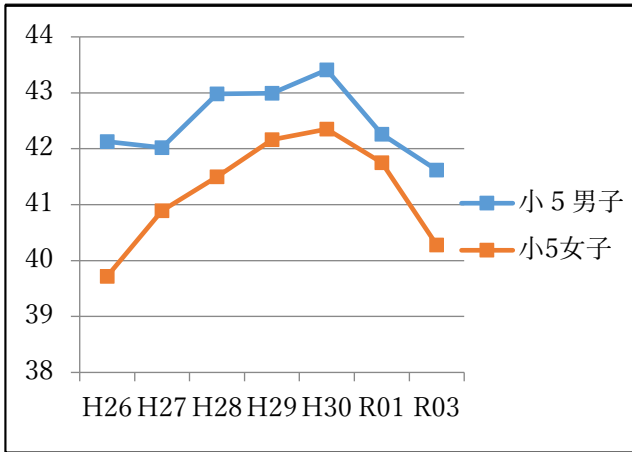
#### ウ 長座体前屈 (cm)



- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

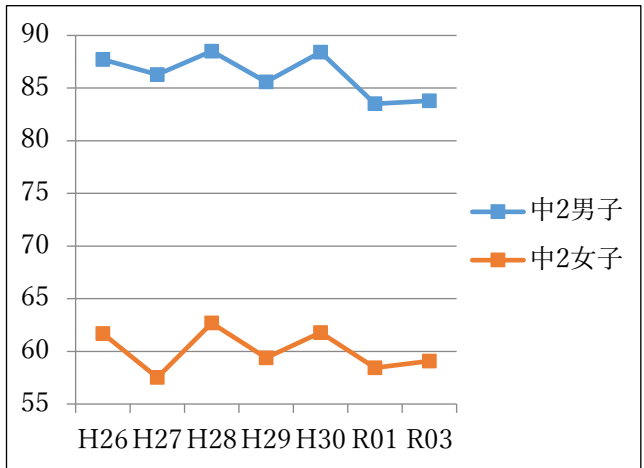
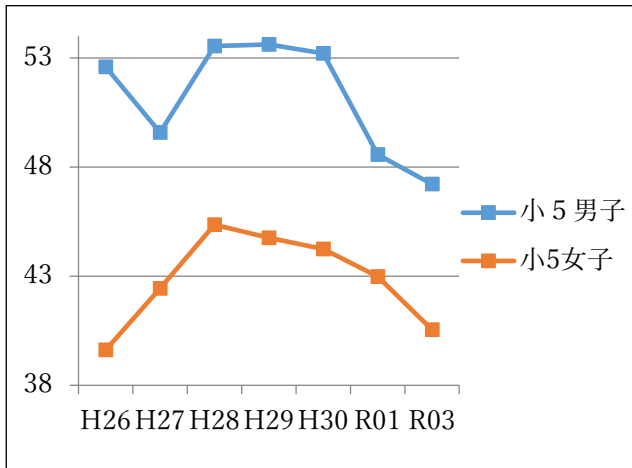


### エ 反復横とび (回)



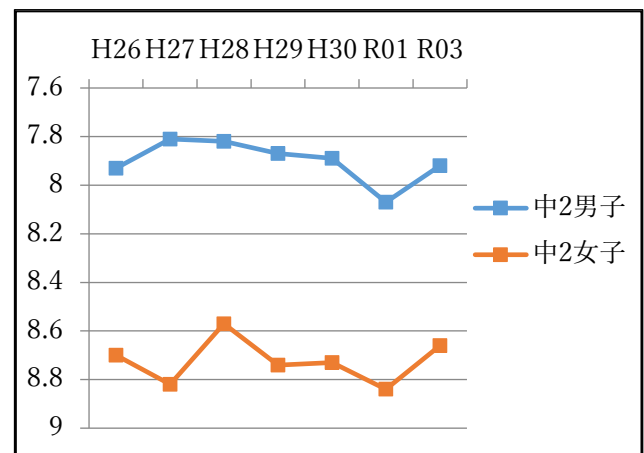
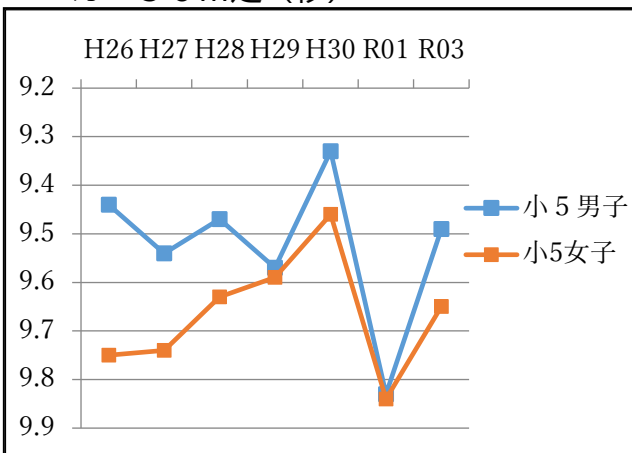
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

### オ 20mシャトルラン (回)



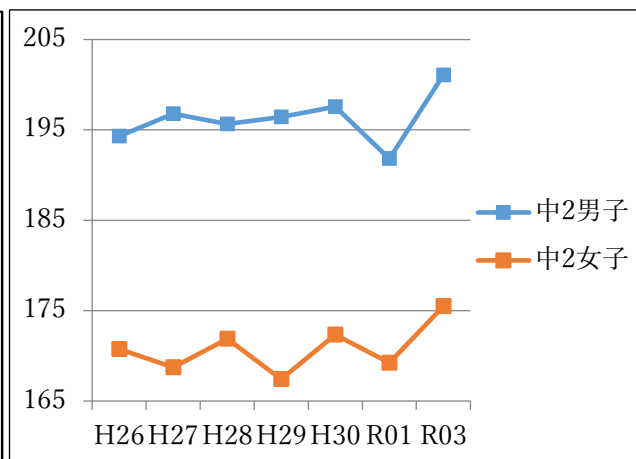
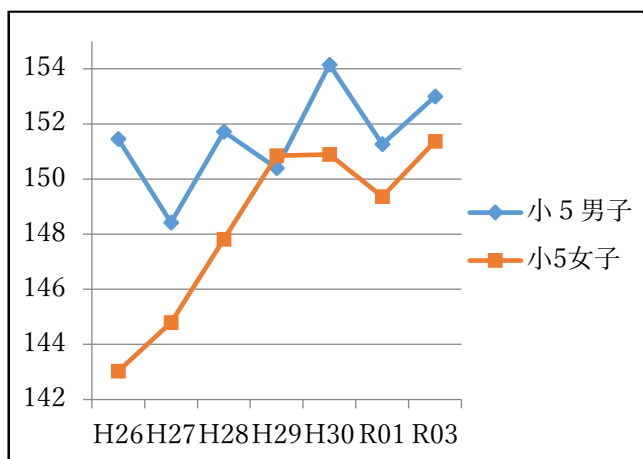
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

### カ 50m走 (秒)



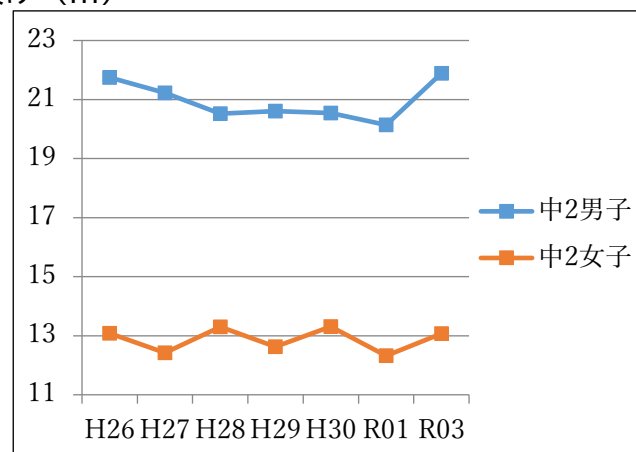
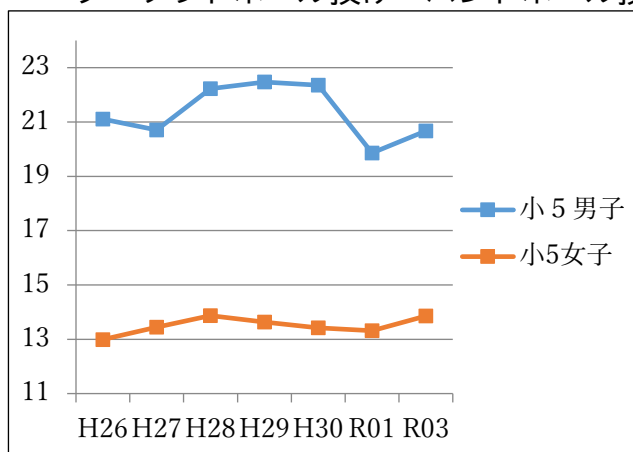
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

### キ 立ち幅とび (cm)



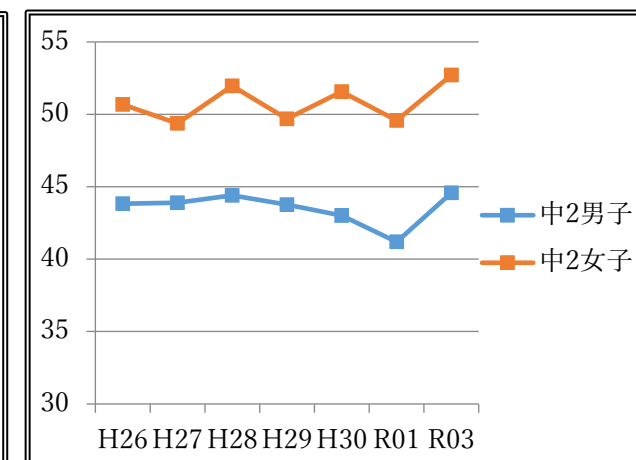
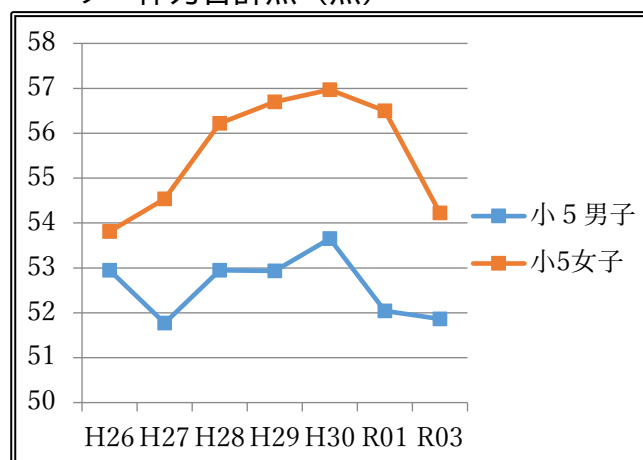
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

### ク ソフトボール投げ・ハンドボール投げ (m)



- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

### ケ 体力合計点 (点)



- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。

(4) 全国平均との比較結果を利用した、中学2年生（R03）の小学5年生（H30）からの変化（同一集団の変化）

$\chi$ をT得点での差（点）とする。

\* T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。全国平均値を50点とする。

\* T得点での差（点）で比較して、

◎上回っている（ $\chi \geq 3$ 点）      ○やや上回っている（ $0.3 \text{点} \leq \chi < 3 \text{点}$ ）

-同じ（ $-0.3 \text{点} < \chi < +0.3 \text{点}$ ）      ▽やや下回っている（ $-3 \text{点} < \chi \leq -0.3$ ）

▼下回っている（ $\chi \leq -3 \text{点}$ ）

小学5年生(H30)~ 中学2年生(R03)の 変化		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトル ラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
中2男子	H30	-	-	-	○	○	○	○	-	○
	R03	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
中2女子	H30	○	▽	○	-	○	○	○	○	○
	R03	○	○	◎	◎	○	▽	○	○	◎

- ・男子では、小学5年生時（H30）に全国平均とほぼ同じであった「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「ボール投げ」が、中学2年生時（R03）には全国平均を上回った。
- ・男子の「体力合計点」は、小学5年生時に全国平均を上回っていたが、中学2年生時にはさらに向上し、大きく上回った。
- ・女子は、中学2年生時に「50m走」以外は全国平均を上回った。
- ・女子では、小学5年生時に全国平均とほぼ同じか下回っていた「上体起こし」「反復横とび」が、中学2年生時には全国平均を上回った。
- ・女子の「長座体前屈」「反復横とび」「体力合計点」について、中学2年生時には全国平均を大きく上回った。

(5) 総括

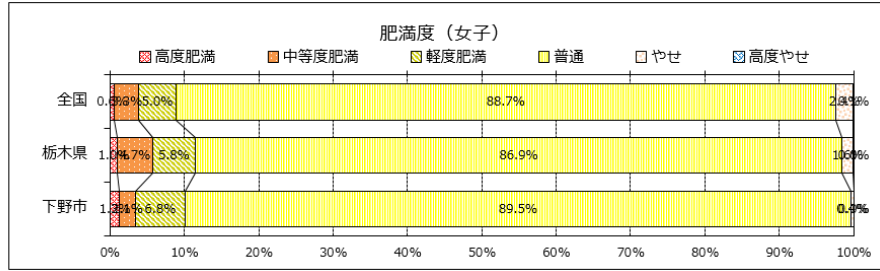
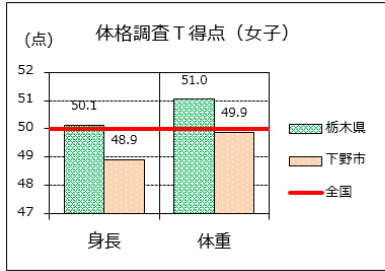
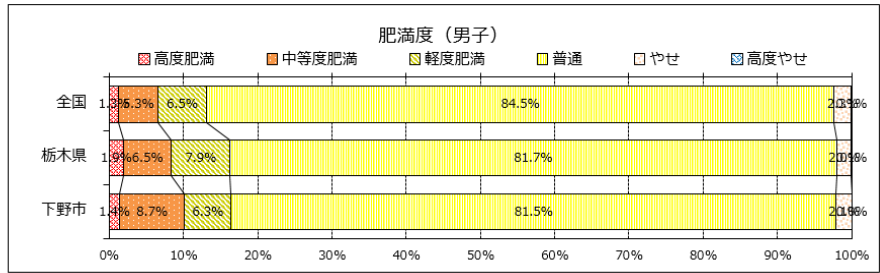
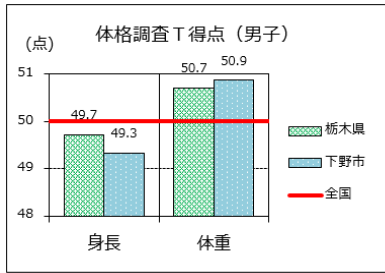
「体力合計点」も含め、小学校で課題が見られた種目について、中学校では解消され、全国平均を上回る結果となった。中学2年生男子は全ての種目で、女子も「50m走（スピード）」以外の種目は全国平均を上回った。種目別では、「反復横とび（敏捷性）」が下野市の児童生徒にとって得意種目となっている。小学校では「握力（筋力）」「長座体前屈（柔軟性）」「50m走」「ボール投げ（巧緻性、筋パワー）」に課題が見られる

経年変化で見ると、小学生は低下傾向にある種目が多い。また、向上、低下ともにその変化が大きい、中学生では、緩やかではあるが、向上傾向にある種目が多い。

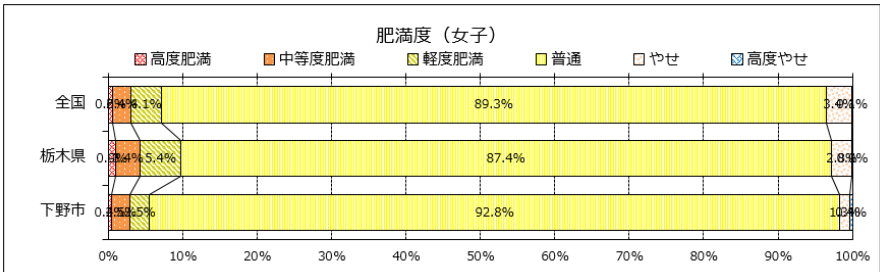
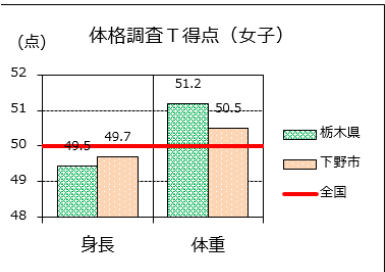
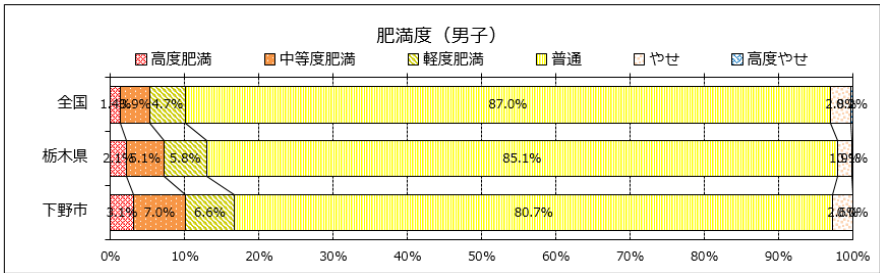
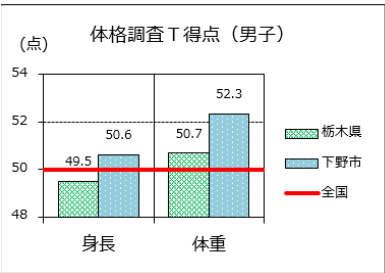
中学2年生（R03）で検証した同一集団の変化からは、男女ともに、全国平均を下回った、もしくは全国平均と同じだった種目が、小学5年生から中学2年生までの4年間で、全国平均を上回る結果となった。

今回の調査から、下野市では「筋力」「柔軟性」に課題が見られた。「筋力」「柔軟性」を高める動きを取り入れたり、業間運動等での取組を工夫したりするなど、意図的・計画的に指導することが大切である。また、中学校で向上する種目が多いことから、中学校における教科体育での取組を検証し、小学校の授業等に取り入れるなど、小中一貫教育の視点からの改善や見直しも必要である。

### 3 体格調査結果について(グラフの「市区町村」が下野市を表す) (小学5年生)



### (中学2年生)



- ・小学5年生は、男子の体重で全国平均を上回った。男女の身長と女子の体重は全国平均を下回った。
- ・中学2年生は男子の身長と男女の体重で全国平均を上回った。女子の身長は全国平均を下回った。
- ・肥満傾向(軽度から高度肥満)の出現率は、小学5年生男女、中学2年生男子において、全国平均を上回った。

#### 4 運動習慣等調査結果について

		Q1.運動が好き				
		標本数	1.好き	2.やや好き	3.ややきらい	4.きらい
小学校 5年男子	全国	512,477	67.9%	23.1%	6.4%	2.6%
	下野市	286	65.4%	25.2%	5.6%	3.9%
中学校 2年男子	全国	465,903	60.6%	26.9%	8.7%	3.9%
	下野市	234	67.5%	21.8%	8.6%	2.1%
小学校 5年女子	全国	490,742	53.1%	30.6%	12.1%	4.3%
	下野市	238	52.9%	25.6%	16.4%	5.0%
中学校 2年女子	全国	440,250	43.0%	32.5%	17.0%	7.5%
	下野市	236	39.0%	39.0%	18.2%	3.8%

運動が「好き」「やや好き」という肯定的な割合は、中学2年生男女で全国平均を上回った。しかし、小学5年生は全国平均とほぼ同じか、下回った。小学校段階での取組が課題である。

		Q2.運動は大切				
		標本数	1.大切	2.やや大切	3.あまり大切ではない	4.大切ではない
小学校 5年男子	全国	512,375	67.5%	25.2%	5.8%	1.5%
	下野市	288	67.0%	27.4%	4.5%	1.0%
中学校 2年男子	全国	465,950	67.4%	25.8%	5.3%	1.6%
	下野市	234	75.2%	21.8%	3.0%	0.0%
小学校 5年女子	全国	490,217	58.9%	31.2%	8.3%	1.6%
	下野市	237	62.5%	29.1%	7.2%	1.3%
中学校 2年女子	全国	439,754	55.4%	34.0%	8.7%	1.8%
	下野市	237	51.1%	40.1%	7.2%	1.7%

運動は「大切」「やや大切」と肯定的な回答をした割合は、小学5年生男女、中学2年生男女で全国平均を上回った。小・中学校男女全てで、運動は「大切ではない」と考える児童生徒の割合も、全国平均より少なかった。

		Q10.体育の授業は楽しい				
		標本数	1.楽しい	2.やや楽しい	3.あまり楽しくない	4.楽しくない
小学校 5年男子	全国	511,920	72.0%	21.8%	4.4%	1.8%
	下野市	287	72.5%	20.2%	6.3%	1.1%
中学校 2年男子	全国	460,611	52.9%	37.2%	7.3%	2.6%
	下野市	231	68.0%	25.5%	5.2%	1.3%
小学校 5年女子	全国	490,328	58.3%	30.9%	8.3%	2.5%
	下野市	238	57.1%	29.8%	10.5%	2.5%
中学校 2年女子	全国	436,963	39.6%	43.4%	13.1%	3.8%
	下野市	236	41.1%	49.2%	8.5%	1.3%

体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と肯定的な回答をした割合は、中学2年生男女で全国平均を上回った。小学5年生男女では、全国平均を下回った。「Q1 運動が好き」の設定と同様に、学校種間で結果が分かれた。

		Q12.体育の授業で自分の動きの質を実感する				
		標本数	1.よく実感する	2.少し実感する	3.あまり実感しない	4.ほとんど実感しない
小学校 5年男子	全国	509,692	37.5%	42.2%	14.6%	5.7%
	下野市	286	37.4%	43.0%	13.3%	6.3%
中学校 2年男子	全国	461,228	30.3%	49.3%	15.9%	4.5%
	下野市	230	40.9%	47.4%	9.1%	2.6%
小学校 5年女子	全国	488,308	26.1%	49.1%	19.2%	5.7%
	下野市	225	62.2%	31.1%	4.9%	1.8%
中学校 2年女子	全国	437,360	19.8%	54.6%	20.8%	4.8%
	下野市	236	28.0%	57.6%	13.6%	0.9%

体育の授業で自分の動きの質を実感するかという問いに対して「よく実感する」「少し実感する」と肯定的な回答をした割合は、小・中学校男女全てで全国平均を上回った。男女間を比べると女子、学校種間を比べると中学校における肯定的な割合が大きい。

		Q19.コロナ前と比べて運動やスポーツをする時間は			
		標本数	1.以前より増えた	2.以前より減った	3.変化はない
小学校 5年男子	全国	509,060	29.2%	41.5%	29.3%
	下野市	287	33.1%	32.8%	34.2%
中学校 2年男子	全国	460,540	31.8%	40.4%	27.9%
	下野市	230	37.8%	42.6%	19.6%
小学校 5年女子	全国	500,443	30.2%	37.7%	22.0%
	下野市	268	19.4%	46.3%	28.4%
中学校 2年女子	全国	436,935	27.1%	41.2%	31.7%
	下野市	236	34.3%	36.9%	28.8%

新型コロナウイルス感染症流行前後での運動習慣に関する問いに対して、小学5年生男子と中学2年生女子はコロナ後も運動時間は増えていると回答していた。小学5年生女子は、コロナ前と比べて減っていると感じている児童の割合が大きい。

- ・下野市の児童生徒は「運動は大切」と感じている割合が高い、反面、「運動が好き」「体育の授業は楽しい」の項目において、肯定的な回答の割合は、中学校で全国平均と比較して高いのに対して、小学校では低い傾向が見られる。運動の大切さを感じている児童の思いを大切にしつつ、教科体育等において、遊びやゲームの要素を取り入れるなど、体を動かすことの楽しさを感じることができるよう活動の工夫をしていくことが重要である。
- ・「体育の授業で自分の動きの質を実感するか」という問いに対して、肯定的な回答をした割合は、小・中学校男女全てで全国平均を上回った。日頃から、動きの向上、技能の習得等、児童生徒が自らの成果を感じることができるよう授業を展開していただいている成果と考える。教師や友達相互による称賛、学習カードやタブレット端末の活用による学びの蓄積等により、児童生徒が自らの成長を感じることができるよう授業を継続することで、運動の楽しさや大切さを実感することにつなげていくことが大切である。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、運動に関しては多くの場面で制約があった。本調査結果からは、運動時間について、学校段階や男女において多少の違いは見られるが、大きな問題は見られなかった。学校において、感染対策を講じつつ、様々な工夫による運動機会の確保に努めていただいた成果と考える。